

平成 29 年度 第 2 回 にいがた交通戦略プラン検討委員会 発言要旨一覧

<基本方針（案）について>

発言骨子	構 成 員 発 言 要 旨	事 務 局 等 回 答 要 旨
新技術等	○今後 10 年間を見据え、新潟市として新しい交通モードの導入やどのようにモーダルシフトを図っていくのかについて、社会実験の実施等を含めてもう少し具体的に示すべきではないか。	○今あるモードと民間の活力を活用しつつ、新技術などの社会実験についても検討していきたい。
基幹公共交通軸	○基幹公共交通軸について、笹出線などにも連節バスを通すのか。	○基幹公共交通軸の段階的な整備を行っていくなかで検討していく。
新技術等	○30 年後には人工知能が人を上回ると言われている。自動運転技術など、そうした段階を見据えた視点も必要ではないか。	～意見として頂戴いたしました～
現行プランの事後評価	○現行プランの事後評価結果をどのように見ればよいのか。	○成果指標の達成状況から、それほど達成できていないという認識である。
交通モード	○自転車についても、通行空間の整備などの取組みを進めていると思うが、記載しないのか。	○関連部署や関連計画とも調整を図りながら追記する。
都心部	○新潟駅の高架化によってまちなかがどのように変化するのか、もう少し具体的な記載がほしい。	○具体的に追記する。
その他	○今後予想される維持管理費は道路だけでなく、橋梁も対象にすべきではないか。	○維持管理費は橋梁も含めてわかりやすく記載する。
市民の役割	○市民の役割についてももう少し具体的に示すべきではないか。	○具体的なイメージを持ってもらえるように加筆する
情報提供	○ICT を活用した情報提供の充実が重要と考える。例えば路線バスと区バスの情報提供を一元化できないか。	～意見として頂戴いたしました～
都市の活力	○都市の活力については、内容が BRT に偏っている印象を受ける。	○基幹公共交通軸の強化だけでなく、広域交通との連携強化も重要と考えている。

生活交通	○データを見ても高齢者の特に区内移動が増加している。効率的にニーズを満たすような対応を考えるべきではないか。	○他都市の事例等も踏まえながら今後検討していく。
高齢者の割合	○団塊の世代が高齢者となり、高齢者の割合が大きくなったため、高齢者の動きが多くなったと言えるのか。	○高齢者の割合が大きくなったことは確かであるが、元気なお年寄りのおでかけの回数が増えているといったデータもある。
大雪時の対応	○大雪時の路線バスの運行方針などを反映した戦略プランとしたほうがよい。	○公共交通網を形成していくうえで、考慮していく。
都心アクセス	○現行プランの事後評価として PTPS の整備が難しいから、道路整備という現実路線に移行した印象を受ける。	○PTPS の整備についても関係機関と連携しながら引き続き取り組んでいく。
将来像	○「住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を市民にどう説明するかが重要。「選ばれる地域」の意味で「住みたい・住み慣れた地域・・・」などの表現がよく使われる。	○具体的に追記する。
生活交通	○「交通弱者等」の表現は高齢者や障害者、子ども等を連想するが、通学が困難で送迎が必要な学生等もあり「すべてのライフステージに応じた」などの方がよいのではないか。	～意見として頂戴いたしました～
交通モード	○全体的に公共交通の計画といった印象を受ける。自転車や自家用車についてももう少し記載すべきではないか。	○自家用車との役割分担も重要と考えており、追記する。
利用促進	○周知の方法や教育として、小学校や中学校への周知も盛り込んでいくべき。	～意見として頂戴いたしました～
交通モード	○水運の活用も考えるべきではないか。	○交流人口の拡大として、今後活用を検討していく。
市民の役割	○「地域主導による計画や運営の推進」は決まったものを進めていくような印象を受けるため表現を工夫すべき。	○表現を修正する。
将来像	○「県都新潟」の言葉及び、それを交通でどう表現するのかの説明がもう少しほしい。	○具体的に追記する。

都心部	<p>○中心部の都市機能向上に加え、歩いて楽しい等まちなかの魅力づくりが必要ではないか。</p> <p>○新潟駅連続立体交差事業などのハード整備を最大限活用するため、TDMや交通規制等も含めたソフト施策を検討すべきではないか。</p>	～意見として頂戴いたしました～
市民の役割	○小規模都市と違い、新潟市はまだ様々な選択肢をとる余裕があると思うが、その際市民をどう巻き込んでいくかが重要ではないか。	～意見として頂戴いたしました～
その他	○今回整理した基本方針を今後きちんと施策に結びつけていくのが重要ではないか。	～意見として頂戴いたしました～
その他	○新技術等は今後 10 年間を見通すのは難しいが人口減少、少子高齢化は確実に進展し、都市間競争も激化するなかで、新潟市として今後の取組に対する決意を示せると良いのではないか。	～意見として頂戴いたしました～